

安全対策に取り組んでいます

昨年の7月、局地的な大雨の影響により伊吹地先の住宅に土砂が流れ込むなどの被害が発生してからおよそ一年がたちました。市では災害発生当初から県と連携し応急対策等を行ってまいりましたが、地域の方々にこれからも安心して暮らしていただけるよう、引き続き取り組んでいます。



③ 強靱ワイヤーネットの設置

(2024年10月)

流れる土砂をせき止めるための強靱ワイヤーネットを勝山谷川の2カ所に設置しました。



上流部のワイヤーネット



下流部のワイヤーネット

④ 土砂をせき止めるえん堤の新設等



土砂をせき止めるためのえん堤を新設するほか、既設のえん堤の改修を進めています。
(写真は新設工事中のえん堤)

⑤ 土砂ポケットの拡幅 (2024年11月)



えん堤上流部の、土砂を受け止めるためのポケットを拡充しました。

⑥ 土石流警報システムの設置 (2024年8月)



万が一土石流が発生した場合、勝山谷川に設置したセンサーが感知し、麓の警報サイレンが鳴る仕組みになっています。



② 土石流ガードの設置

(2024年10月)



土砂の勢いを抑えるための土石流ガードを設置しました。

① 雨量計の設置 (2024年7月)



伊吹山に降る雨量を計測するための雨量計を設置しました。

市長の市政言

伊吹山土砂災害から1年

伊吹山で発生した土砂災害から1年が経過しました。被災されました皆様に改めてお見舞い申し上げますとともに、発災直後からこれまで、災害復旧や安全確保に向けて御尽力いただいた自治会の皆様をはじめ、関係機関の皆様、御支援いただきましたすべての皆様に心より感謝申し上げます。

伊吹山再生に向けては、滋賀県とともに、「伊吹山保全対策のロードマップ」を作成し、土砂災害防止対策やシカの捕獲強化、南側斜面の植生回復など、各事業を強力に押し進めております。また、8月1日には、三日月知事に対し、治山および自然保護事業の集中的かつ迅速な実施、山頂域の植生保全のための金属柵設置に対する財政的支援、登山道の利用再開に向けた対策等への要望を行ってまいりました。

引き続き、本市の象徴である伊吹山の再生と市民の安全確保に向けて力を尽くしてまいります。

米原市長 角田航也



8月1日知事要望



昨年7月1日の発災直後



災害に対する、普段からの備えが大切です

災害はいつ発生するか分かりません。いざという時に、自分や大切な人の命を守るためには、日頃からの備えが大切です。



◀ 防災ハザードマップで、お住まいの地域が「土砂災害警戒区域」や「洪水浸水想定区域」かどうかを今一度ご確認ください、普段から災害への備えをお願いします。



iPhone版



Android版

◀ 米原市防災アプリでは、災害時における避難所の開設状況や気象警報等の緊急情報を配信しています。

【災害・減災対策に関すること】 図 市 防災危機管理課 ☎53-5161 図 53-5149